

## (6) 浸透ゾーンの現況等

### ① 浸透ゾーンとして予定している場所における浸透の状況

浸透ゾーンとして予定している場所は、図-6.1.1(11)に示すとおりであり浸透ゾーンⅠ、Ⅱ、Ⅲの三つのゾーンを計画している。

雨水の浸透状況については、梅雨前線による大雨が発生した平成17年5月24日15時頃から16時30分頃の間、現地踏査し、観察した。その時の雨量は石垣市登野城で1時間71ミリ（14時18分から15時18分）であり、その状況は以下のとおりである。

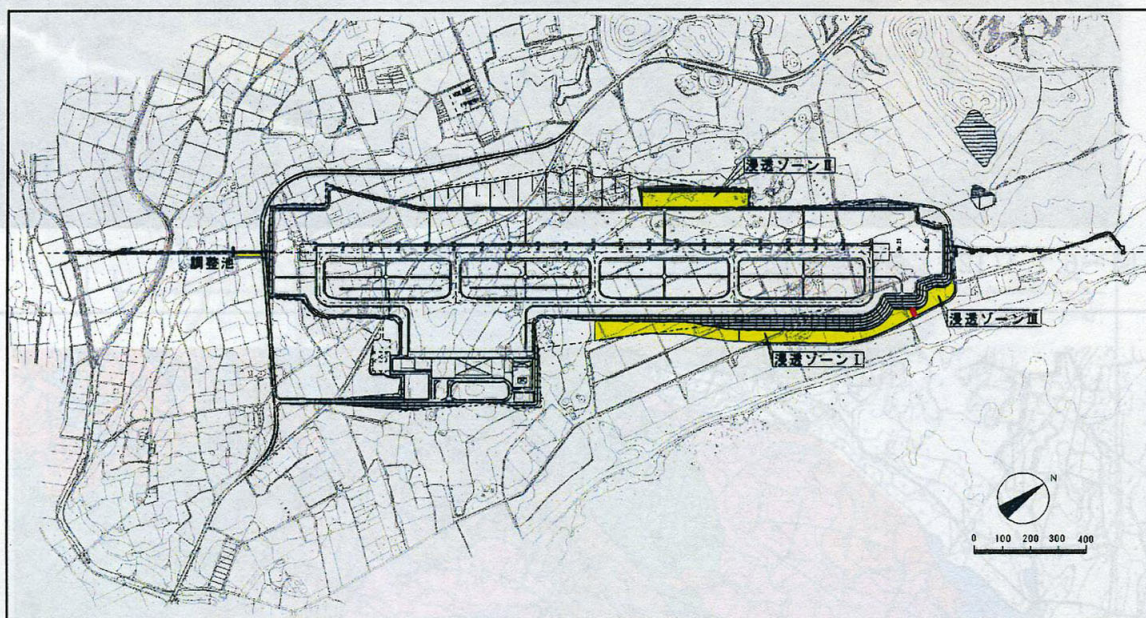


図-6.1.1(11) 浸透ゾーン位置図

ア) 浸透ゾーンⅠが整備される区域は、事業実施区域においては、最も低い位置にある。

南側区域は、牧草地、サトウキビ畑として利用されている。小礫混じりの土壌であるため、雨水の浸透は良好である。

北側区域は、牧草地、サトウキビ畑、造園用樹木生産畑に利用されている。雨水の浸透は、北端部において畑の窪地に一時的な雨水の滞留が見られたものの全体的に雨水の浸透はよく、雨水はほとんど地下浸透し、表流水の発生は見られない。

イ) 浸透ゾーンⅢが整備される区域は、浸透ゾーンⅠに連続し、北側に位置しており、浸透ゾーンⅠと同様に牧草地、造園用樹木生産畑に利用されている。雨水の浸透は、畑の窪地に一時的な雨水の滞留が見られたものの、当該ゾーンに降った雨水はほとんど地下浸透し、表流水の発生は見られない。

ウ) 浸透ゾーンⅡが整備される区域は、滑走路の西にあり、事業実施区域内においては、標高の高い位置にある。

当該ゾーンは、ゴルフ場として利用されており、樹木が点在するが、大部分はゴルフ場の芝地である。

雨水の浸透は、ゴルフ場の中で低い位置にある窪地に一時的に雨水の滞留が見ら